

平成25年度 事前評価実施地区一覧表

(1) 森林環境保全整備事業

四国森林管理局

整理 番号	都道府県	事業実施主体	事業名	事業実施地区名		総便益 (千円) B	総費用 (千円) C	分析 結果 B/C	チェックリスト															備考			
									I 必須事項					II 優先配慮事項													
									1	2	3	4	5	1 有効性		2 効率性		3 事業の実施環境等									
									(1)		(2)		(1)		(2)		(3)										
① ②		① ②		① ②		① ②		① ②		① ②		① ②		③ ④		③ ④											
1	高知県	四国局	安芸署	森林環境保全整備	安芸森林計画区	あき	18,333,407	3,592,688	5.10	○	○	○	○	○	B	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A	A	
2																											
3																											
4																											
5																											
6																											
7																											
8																											
9																											
10																											
11																											
12																											
13																											
14																											
15																											
16																											
17																											
18																											

※森林環境保全整備事業、森林居住環境整備事業ごとに別様とする。

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)	
事業実施地区名 (都道府県名)	(あき) 安芸森林計画区 (高知県)		事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署	
事業の概要・目的	<p>当事業区は、高知県東部に位置する安芸森林計画区の国有林野29,023haを対象としている。当該計画区は、北部は奈半利川の源流部、南部は室戸岬までの高知県東部に位置している。年平均気温は北部と南部で若干差はあるものの16.9℃で、年平均降水量は3,300mmと温暖多雨で林木の生育に適した気候下にあり、スギを中心とした植林が行われており、人工林率は59%となっている。国有林野は、安芸川、伊尾木川の上流域に位置する団地、安田川上流域の馬路地区から奈半利川上流域の魚梁瀬地区につながる団地、奈半利川支流の流小川上流域から須川川、佐喜浜川、別役川上流の山地へ連なる団地、その他団地に大別できるとは、魚梁瀬地区を、心にヤナセ天然スギの産地と知られている。多くの森林は、温暖帯に属し、中南部の標高の低い地域はスダジイ、コジイ、北部の標高の高い地域はスギを混生したモミ、ツガ群落が分布し、四国山地から連なる徳島県境周辺では冷温帯を代表するブナ林が見られる。天然林は千本山、西又山、稗已屋山、代表する多様な森林相であり、学術上貴重であり、森林は地域を林、県立公園、レクリエーションの森等に指定されている。一方、林種別では人工林が22,377haで人工林率は77%と高く、スギが65%を占めており、長伐期化等により間伐が必要な6齢級から12齢級が人工林面積の75%を占めている。</p> <p>国有林においても、これら充実しつつある資源を生かしながら今後、木材の安定的な供給を通じ地域産業の振興に寄与することが期待されている。特にヤナセ天然スギについては保続と利用のバランスに留意した、持続的な供給が期待されている。</p> <p>また、平成23年に世界オパークに認定された室戸市全域においては、地質遺産とともに亜熱帯から暖温帯にわたる多様な森林植生の保全も重要なこととなっている。本事業においては、貴重な天然資源を将来にわたり確保すること、ヤナセ天然スギの後継樹の育成や木材の安定的な供給を図るため、天然林を育成する地域を確保し、木材の安定的な供給を確保するため、天然林を育成する地域を確保すること、ヤナセ天然スギの後継樹の育成や木材の安定的な供給等を通じ、山村の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。</p> <p>主な事業内容 更新面積346ha ・ 保育面積5,734ha 開設延長9.1km ・ 改良延長36.5km</p> <p>総事業費 3,281,670千円</p>				
費用対効果分析	<p>総便益(B) 18,333,407千円</p> <p>総費用(C) 3,592,688千円</p> <p>分析結果(B/C) 5.10</p>				
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>貴重なヤナセ天然スギの育成を図るとともに、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を必要とすることから、事業を実施することが妥当と認められる。</p>				
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業計画は保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて、地域の要請に応え、ヤナセ天然スギの後継樹の育成や木材の安定供給等を通じ山村の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。</li> <li>・ 有効性 健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備についても、森林整備と連携したものとなっている。加えて、地域の要請に応え、ヤナセ天然スギの後継樹の育成や木材の安定供給等を通じ山村の活性化にも資するものとなっていることから有効な事業であると認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>				

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名 森林環境保全森林整備

都道府県名: 高知

施行箇所 安芸森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,662,753	
	流域貯水便益	1,504,816	
	水質浄化便益	3,185,363	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,556,880	
環境保全便益	炭素固定便益	1,385,722	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	916,646	
	木材利用増進便益	12,826	
	木材生産確保・増進便益	2,383,075	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	236	
	森林管理等経費縮減便益	12,426	
	森林整備促進便益	1,712,664	
総 便 益 (B)		18,333,407	
総 費 用 (C)		3,592,688	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,333,407}{3,592,688} = 5.10$		